	授業科目 	単位数	学年	期間			担当者氏名	担当		
				,,,,,,,	職種 	役職 		時間数 		
	解剖生理学総論	1	1	前期	看護師	本校専任教員	専任教員	15		
実務経	験のある教員等による授業	科目(い	ずれか	こ(の印)		授業形態(全授業時間]に対する割合)			
	該当する ・ 該	当しない	>		講義形	式(100)% ・ 実習な	ど講義形式以外()	%		
評価 方法	筆記試験 レポー				教科書▪ 参考資料	系統看護学講座 専門 解剖生理学 人体の構造	分野 造と機能①			
概要	人体の構造と機能を学び、ノ	人間のか	らだの仁	上組みを理	里解する。					
目標 2	1.人間のからだの名称が言. 2.人間のからだの仕組みに 3.ホメオスタシスについて理	ついて理	解できる	3						
回数					授業内容·計	画				
1 1	1章A「構造からみた人体」				☆1章Cの内容は、生物学で受講					
2 1	1章B「人体のさまざまな器官	.]								
3										
5	5章C「体液の調節」									
4 6	6章A「自律神経による調節」									
	B「内分泌系による調節」				☆6章	EC·E②内容は、解剖生理	里学各論Ⅱ・Ⅲで受講			
5 6	6章D「ホルモン分泌の調節」									
6										
- 1	9章C「体温とその調節」									
8 <i>á</i>	終講試験									
					 留意事項					

		774 /T #F	24 F	#0 AB		実務経験	担立された	担当		
	授業科目 	単位数 	学年 	期間	 職種	役職	担当者氏名 	時間数		
(解剖生理学各論 I (呼吸・循環・造血機能)	1	1	前期	看護師	本校専任教員	専任教員	30		
実務終	圣験のある教員等による授業	科目(い	ずれか	に〇印)		授業形態(全授業時間	ー 引に対する割合)			
	該当する (該	当しない	>		講義形式	C(100)% ・ 実習な	ビ講義形式以外() %		
評価 方法	筆記試験 学習意欲 し	分野 造と機能①								
概要	人体の構造と機能を日常生 に関連しているか理解する。		気から捉	え、構造	と機能に関する	知識が人間の健康障害な	や病態生理、看護技術と	どのよう		
目標	1. 人間の生命活動(呼吸する、循環を保つ)に関する構造を理解できる 2. 人間の生命活動(呼吸する、循環を保つ)に関する機能を理解できる 3. 呼吸と血液のはたらきを理解できる 4. 血液の循環とその調節を理解できる									
回数	授業内容•計画									
1	4章 「血液の循環とその調節」 A 循環器系の構成 B 心臓の構造									
2	C 心臓の拍出機能 - 心脈	蔵の興奮	とその伝	括 心智	電図					
3	心電	図								
4	心臟	酸の収縮	心周期]						
5	D 末梢循環器系の構造 -	・血管の	構造 月	市循環の	血管 体循環の	動脈 体循環の静脈				
6	E 血液の循環の調節 - 血圧 血液の循環 血圧・血流量の調節									
	移	敚小循環	循環器	器系の病	態生理					
7	F リンパとリンパ管									
8	3章 「呼吸と血液のはたらき」 A 呼吸器の構造 - 呼吸器の構成 上気道 下気道と肺 胸膜・縦郭									
9	B 呼吸 - 内呼吸と外呼吸 呼吸器と呼吸運動 呼吸気量									
10	ガス交換とガス運搬 肺の循環と血流									
11	呼吸運動の調節 呼吸器系の病態生理									
12	C 血液 - 血液の組成と機能 赤血球									
13	白血球 血小板	页 血液の	り凝固							
	血液型									
	0 7 5 11 th o 17 th // 11 l/k l# .									
14	9章「生体の防御機構」									
14	非特異的防御機構	特異的	防御機材	冓-免疫	生体防御の	関連臓器				

講義の前に教科書の該当部分を通読、予習・復習により記憶の定着をはかるようにしてください。おおむね毎回講義時に復習と発展問題を配布しますので、自己学習に役立ててください。

		121 141 TO	774 TT 761	24 1-	#0.00		実務経験	10 W * ~ 2	担当			
		授業科目	単位数	学年	期間	職種	役職	- 担当者氏名	時間数			
該当する 該当しない 議義形式(100)%・実習など講義形式以外()% 辞価 接記試験 学修意欲 レポート 教育責料 系統看護学講座 専門分野 新賀和 東部 大郎の構造と機能を日常生活の視点から捉え、構造と機能に関する知識が人間の健康障害や病態生理、看護技術とどのに関連しているか理解する。 1. 人間の日常生活「食べる」(栄養の消化と吸収)に関する機能を理解できる 2. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 3. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 4. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 4. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 2章 「栄養の消化と吸収」 2章 A 即 服部消化管の機能と構造 2章 B 服部消化管の機能と構造 2章 B 服部消化管の機能と構造 2章 B 取部消化管の機能と構造 3	(栄養		1	1	前期		本校専任教員	専任教員	30			
	実務網	- 経験のある教員等による授業	 科目(い	ずれか	にO印)		授業形態(全授業時間	 に対する割合)				
************************************		該当する (該	当しない	\triangleright		講義形式	C(100)% ・ 実習なる	ビ講義形式以外()%			
1. 人間の日常生活「食べる」(栄養の消化と吸収)に関する構造を理解できる 2. 人間の日常生活「食べる」(栄養の消化と吸収)に関する機能を理解できる 3. 人間の日常生活「食べる」(栄養の消化と吸収)に関する機能を理解できる 4. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 2章 「栄養の消化と吸収」 2章 A ロ・咽頭・食道の構造と機能 2 2章 B 腹部消化管の機能と構造 3	評価 方法	筆記試験 学修意欲	レポー	-}-								
目標 2. 人間の日常生活「食べる」(栄養の消化と吸収)に関する機能を理解できる 4. 人間の日常生活「排泄する」に関する機能を理解できる 四数 授業内容・計画 1 2章「栄養の消化と吸収」2章A ロ・咽頭・食道の構造と機能 2 2章B 腹部消化管の機能と構造 3 4 4 2章C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 5 6 6 2章D 腹膜 7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 14	概要	人体の構造と機能を日常生: に関連しているか理解する。	活の視点	えから捉	え、構造	と機能に関する	知識が人間の健康障害を	☆病態生理、看護技術と	どのよう			
1 2章「栄養の消化と吸収」2章A ロ・咽頭・食道の構造と機能 2 2章B 腹部消化管の機能と構造 3 4 4 2章C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 5 6 6 2章D 腹膜 7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章F生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 14	目標	2. 人間の日常生活「食べる」 3. 人間の日常生活「排泄す	」(栄養 <i>0</i> る」に関)消化と する構造	吸収)に きを理解	関する機能を理 できる	解できる 解できる					
2 章B 腹部消化管の機能と構造 3 4 2章C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 5 6 2章D 腹膜 7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 14 10章C 受精と胎児の発生	回数											
3 4 2章C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 5 6 2章D 腹膜 7 5章(体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章(生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	1											
42章C 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能52章D 腹膜75章「体液の調節と尿の生成」85章A 腎臓95章B 排尿路1010章「生殖・発生と老化のしくみ」1110章A 男性生殖器1210章B 女性生殖器1310章C 受精と胎児の発生	2	2章B 腹部消化管の機能と	:構造									
5 2章D 腹膜 7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	3											
6 2章D 腹膜 7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	4	2章C 膵臓・肝臓・胆嚢の様	構造と機能	尨								
7 5章「体液の調節と尿の生成」 8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 14 14 10章C 受精と胎児の発生	5											
8 5章A 腎臓 9 5章B 排尿路 10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	6	2章D 腹膜										
95章B 排尿路1010章「生殖・発生と老化のしくみ」1110章A 男性生殖器1210章B 女性生殖器1310章C 受精と胎児の発生	7	5章「体液の調節と尿の生成										
10 10章「生殖・発生と老化のしくみ」 11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	8	5章A 腎臓										
11 10章A 男性生殖器 12 10章B 女性生殖器 13 10章C 受精と胎児の発生	9	5章B 排尿路										
12 10章B 女性生殖器 13 13 14 10章C 受精と胎児の発生	10	10章「生殖・発生と老化のし	くみ」									
13 14 10章C 受精と胎児の発生	11	10章A 男性生殖器										
14 10章C 受精と胎児の発生	12	10章B 女性生殖器										
	13											
15 終講試験	14	10章C 受精と胎児の発生										
	15	終講試験										
<u> </u>						 留意事項						

	授業科目	1 H 1 H W 1	ᄣᄯ	#088		実務経験	11 小子より	担当			
		単位数	学年 	期間	 職種	役職	- 担当者氏名 -	時間数			
(解剖生理学各論Ⅲ 運動・神経・感覚機能)	1	1	前期	看護師	本校専任教員	専任教員	30			
実務終	圣験のある教員等による授業	科目(い	ずれかり	こ(の印)		授業形態(全授業時間	引に対する割合)	•			
	該当する (該	当しない	>		講義形式	に(100)%・実習なる	ビ講義形式以外()%			
評価 方法	筆記試験				教科書• 参考資料	系統看護学講座 専門 解剖生理学 人体の構	分野 造と機能①				
概要	人体の構造と機能を日常生: 理、看護技術とどのように関:	活の視点 連してい	〔、患者(るか理角	の観察の 解する。	視点から捉え、	構造と機能に関する知識	が、人間の健康障害や	病態生			
目標	1. 人間の日常生活「動く」に 2. 人間の日常生活「動く」に 3. 人間の感覚機能、反応に 4. 人間の感覚機能、反応に	関する機関する権	幾能を理 構造を理	解でき、 解できる	患者の観察への)用い方が理解できる)用い方が理解できる					
回数					授業内容•計	·画					
1	1章 解剖生理学を学ぶ意義 基礎知識-人体の部位、人体内部の腔所と膜、方向										
2	7章A・B・C 人体の骨格、	骨の形態	と構造、	関節、関	目節可動域、良胆	支位、骨格筋の構造					
3	7章H 神経伝達から筋収縮	6、筋収縮	留の種類	į							
4	8章A·D·F 神経組織、神経	怪系の構	造と機能	七、上行位	伝導路、下行伝	導路					
5	8章B・C 脊髄の構造と機能										
6	7章D·E·F·G 体幹・胸部・	*背部•腹	部・上肢	支•下肢∉	の骨格と筋、頭頚	育部の骨格と筋					
7											
8	7章1 運動と代謝										
9	8章B・K 脳の構造・機能-用	脳幹∙小朋	巡∙間脳	脳の統	合機能						
10	8章C 大脳機能局在 脳神	経									
11	8章C 脳神経										
12	8章G 眼の構造・機能										
13	8章H 耳の構造・聴覚										
14	8章J 痛み 9章A 皮膚の)構造と核	幾能								
15	終講試験										
	<u> </u>										